

## 第7章 サロマ湖

國枝なつき

### 7.1. サロマ湖の概要

空と海、そして湖がおりなす青の世界。季節の違いによって大自然はいくつもの色合いを魅せてくれる。スカイブルーでもなければマリンブルーでもない。独特の美しい湖面の青色は「サロマンブルー」と呼ばれる。東側湖畔にある栄浦は、夕陽の名所として知られている。

図 7-1



出典：北海道デジタル図鑑

#### 7.1.1. サロマ湖の大きさ

サロマ湖は道内では1番、全国でも琵琶湖、霞ヶ浦に次いで3番目に大きな周囲約91km、面積約152 km<sup>2</sup>（甲子園球場が約3800個すっぽり収まってしまう）の海跡湖である。約20kmもの長大な砂州によってオホーツク海と隔てられた汽水湖である。最大深度は19.6m、海拔は0mである。

#### 7.1.2. サロマ湖の位置

北海道北東部に位置し、網走国定公園に含まれる。湖は東西に長い。湖岸線を見る限り1つの大きな湖盆に見えるが、湖底地形を見ると南岸東寄りから突き出たキムアネツプ岬付近に浅い部分があり、これにより東西二つの湖盆に分けることができる。西の大きな湖盆には芭露川、計呂地川などが流れ込み、新湖口から流れ出る。東の小さい方の湖盆に流れ込む佐呂間別川は流入河川の中でもっとも大きな川であり、河口にできた三角州上には佐呂間町浜佐呂間の市街が広がる。

### 7.2. サロマ湖の歴史

オホーツク海の湾入部が堆砂によって海と切り離された海跡湖。豊富な海産物を求めて古くから集落ができており、特に常呂町栄浦では縄文時代からオホーツク文化、アイヌ文化と続く建物跡やそれに伴う遺物が狭い範囲から多量に発掘され、考古学的に貴重。東京大学文学部の施設がある。

かつては恒久的な湖口を持たず、春になると砂州東端の鑑沸（とうふつ）近くに湖口が開き、秋になると漂砂で閉塞していた。湖水位の上昇は沿岸に湿地帯を多く生じさせ、増水時には氾濫被害なども生じることや、湖口閉塞が漁船の外海との往来に支障することから、毎年融雪期になると鑑沸地域の住民達は人為的に湖口を開削していた。

鑑沸の湖口は湖の東端に偏っており、西岸・南岸の湖岸住民たちは外海との往来に鑑沸への大回りをするか、さもなければ小舟を人力で引き揚げて、湖と外海間の砂州を乗り越える作業を余儀なくされた。湖水位上昇の被害とも相まって西岸・南岸の住民には西寄り湖口開削の希望が強かった。

1920年代には東岸住民らの反対を押し切って、西岸住民らの西寄り開削が繰り返されたものの、試掘の度に自然閉塞が生じ、試みは頓挫していた。しかし、1929年春、湧別町の住民達が西寄りにある三里番屋付近に新たな湖口を試削したところ、同年4月の荒天による湖水大量流出などが影響、開削部が短期間で自然拡大して、幅100mを超える永久湖口へと変じた。以降鑑沸湖口が開かれることはなくなり、湖面はほぼ常時海水面同等の水位となった。

1979年には常呂町（現・北見市）側に水門を備えた第二湖口が開かれている。

### 7.3. サロマ湖の利用

漁業法上は海面に指定されている。ホタテガイ、カキの養殖が盛んであり、そのほかサケなどの魚類やホッケイシマエビなどを産出する。

1929年の永久湖口の開削以降、サロマ湖への海水の流入は増え、湖水の塩分は海水に近いものとなり、海水魚も多く入り込むようになった。水質・水温の急激な変化は生態系を変え、かつて鑑沸地域などで豊富に採取できた天然カキは短期間で壊滅した。

1930年代以降、対策としてカキ養殖の研究が図られたが、その過程でカキよりもむしろホタテガイの養殖適地としての可能性が見出された。長年の試行錯誤を経て、1960年代以降はホタテ養殖の試みが軌道に乗り、サロマ湖で最多の水産資源となっている。

### 7.4. サロマ湖の観光エリア

#### ●ワッカ原生花園

オホーツク海とサロマ湖を隔てる「竜宮街道」と呼ばれる細長い砂嘴の一角が、5月中旬から9月にかけてハマナスを始め、エゾスカシユリ、センダイハギ、エゾゼンテイカ、300種を超える花たちが咲き香る。これが日本最大の海岸草原「ワッカ原生花園」である。

図 7-2



出典：北海道遺産ワッカ原生  
花園

#### ●キムアネップの岬

サロマ湖の東南部、湖に突き出たキムアネップ岬には原生植物の群落地があり、青紫のヒオウギアヤメ、淡紅色のハマナス、深黄のセンダイハギなど約50種の花が6月～8月にかけ咲き競う。9月を過ぎると真っ赤なサンゴ草が岬一

帯を赤く燃やす。キャンプ場や遊歩道、釣り船、貸ボート等もある。

●ワッカネイチャーセンター

ワッカ原生花園のあるワッカ地区は、かけがえのない自然をより良い状態のままにということから、全ての動力車両が全面通行規制されている。栄浦大橋を渡った入口には、エントランスサービスを担うワッカネイチャーセンターがある。ここでは、原生花園の植物群等の展示やマルチビジョンの上映（有料）も行われている。

図 7-3



出典：ワッカネイチャーセンター

●サロマ湖展望台

サロマ湖に沿って国道 238 号を行くと幌岩山があり、山頂には「サロマ湖展望台」がある。ここからの眺望は素晴らしく、サロマ湖、オホーツク海、遠く知床半島をも一望できる。周辺には遊歩道もある。

図 7-4



出典：手工業の館

●常呂手工芸の館

「ところ流氷焼き」は町のオリジナル陶芸。流氷がモチーフのこの焼物は、地場の粘土、サロマ湖のホタテ貝やカキ貝を釉薬に使った独自のもの。

## 7.5. サロマ湖のイベント「サロマ湖 100km ウルト라마ラソン」

昨年で 25 回を数える、サロマ湖の広さを生かしたイベント「サロマ湖 100km ウルト라마ラソン」は、オホーツクの大自然と朝夕光景を異にする雄大なサロマ湖をフィールドに毎年 6 月下旬に開催され、全国各地から約 3,500 名のランナーがエントリーしている注目を浴びる大会である。

図 7-5



出典：サロマ町観光協会

## 参照 HP

北海道デジタル図鑑

<http://www.hokkaido-jin.jp/zukan/picturebook/itemview.php?iid=2200100118>

佐呂間町観光物産協会

[http://www.town.saroma.hokkaido.jp/saroma\\_kanko/index.html](http://www.town.saroma.hokkaido.jp/saroma_kanko/index.html)

サロマ湖の観光

[http://www.tabi-hokkaido.co.jp/lake\\_saroma/kanko.htm](http://www.tabi-hokkaido.co.jp/lake_saroma/kanko.htm)

Wikipedia

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B5%E3%83%AD%E3%83%9E%E6%B9%96>

北海道遺産ワッカ原生花園

[http://www.city.kitami.lg.jp/tok\\_guide07/guide07.htm](http://www.city.kitami.lg.jp/tok_guide07/guide07.htm)

ワッカネイチャーセンター

[http://www.city.kitami.lg.jp/tok\\_sisetsu12/sisetsu12.htm](http://www.city.kitami.lg.jp/tok_sisetsu12/sisetsu12.htm)

手工業の館

[http://www.city.kitami.lg.jp/tok\\_sisetsu13/sisetsu13.htm](http://www.city.kitami.lg.jp/tok_sisetsu13/sisetsu13.htm)